

「【生活者に聞K!】第36回 クレジットカードおよび電子マネーの利用状況について」

選ばれるカードの条件はポイントと使える店舗の多さ。

電子マネーの浸透はさらに進む。

詳細は月刊『アイ・エム・プレス』Vol.214(2014年3月号)誌上で!

株式会社アイ・エム・プレス（東京都文京区）は、月刊『アイ・エム・プレス』掲載の連載「生活者に聞K!」シリーズ（調査主体：(株)アイ・エム・プレス／調査協力：(株)ドゥ・ハウス）で、昨年の同時期に引き続き、クレジットカードと電子マネーの利用状況について調査を行いました。同調査結果のダイジェストをお届けします。

<調査の概要>

調査期間：2014年1月8日(水)～14日(火)
2013年1月15日(火)～17日(木)
調査方法：(株)ドゥ・ハウス myアンケート
調査対象：20～60代の男女

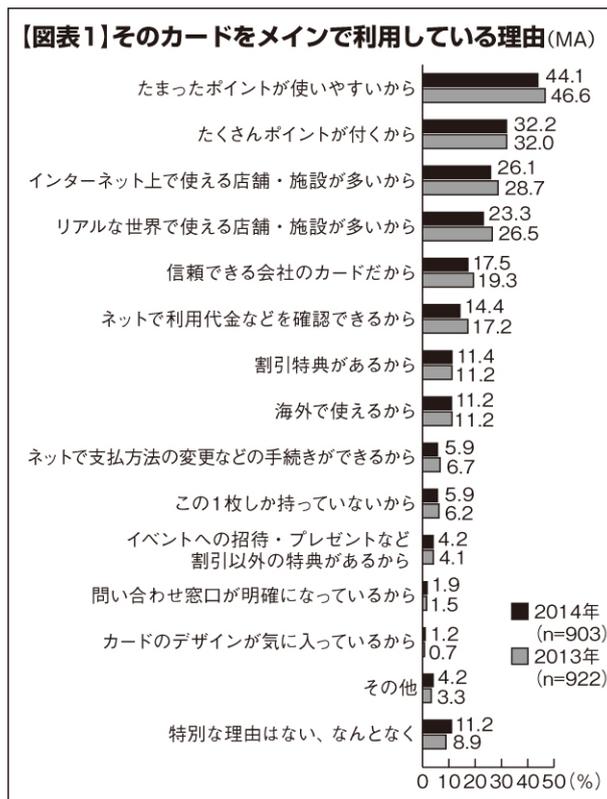
サンプル数：1,010(2014年調査)
1,010(2013年調査)
調査主体：(株)アイ・エム・プレス
調査協力：(株)ドゥ・ハウス

<調査結果紹介>

●メインで使うクレジットカードに求めるのは ポイントが付くことと使える店舗が多いこと

1枚でもクレジットカードを持っている人が、過去1年間に2回以上利用した（口座引き落としがあった）カードの枚数は、「1枚」が36.4%（2013年調査：33.8%）、「2枚」が30.6%（同32.3%）、「3枚」が16.4%（同17.0%）、「4～5枚」が11.9%（同12.0%）、「6～9枚」が1.2%（同1.9%）、「10枚以上」が1.1%（同0.6%）で、「1年間に2回以上利用したクレジットカードはない」が2.4%（同2.4%）でした。

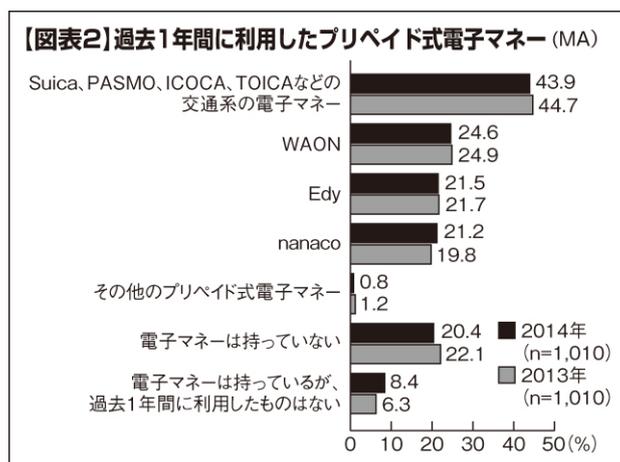
また、メインで利用しているクレジットカードについて、そのカードをメインにしている理由を聞いたところ、「たまったポイントが使いやすいから」が44.1%（同46.6%）でトップ、次に「たくさんポイントが付くから」が32.2%（同32.0%）、「インターネット上で使える店舗・施設が多いから」が26.1%（同28.7%）、「リアルな世界で使える店舗・施設が多いから」が23.3%（同26.5%）などなっていました（図表1）。メインカードを決める上では、ポイントの使いやすさ、ためやすさと、利用できる店舗・施設の数重視されており、この傾向は2013年調査と変わりありません。



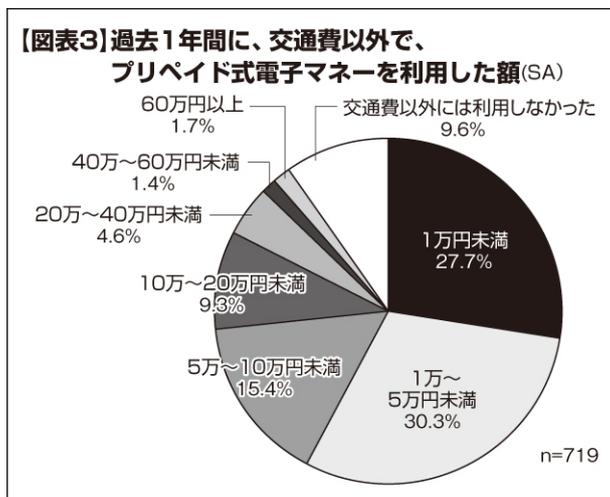
ただし、どのカードをメインカードにしているかによって、選んだ理由のウエイトには違いが見られました。例えば「楽天」をメインカードにしている人では、65.6%が、「たまったポイントが使いやすいから」を挙げています。

**●プリペイド式電子マネーを使っているのは7割強
利用額は年間5万円未満で58%を占める**

プリペイド式電子マネーに関しては、79.6%（2013年調査：77.9%）が保有しており、支払い手段の1つとして、生活の中に浸透していることがわかりました。使った電子マネーの種類では、「Suica、PASMO、ICOCA、TOICAなどの交通系の電子マネー」が43.9%（同44.7%）で最も多く、以下、「WAON」が24.6%（同24.9%）、「Edy」が21.5%（同21.7%）、「nanaco」が21.2%（同19.8%）などとなっています（図表2）。



プリペイド式電子マネーの年間の利用額は、「1万円未満」が27.7%（同29.3%）、「1万～5万円未満」が30.3%（同28.8%）、「5万～10万円未満」が15.4%（同17.0%）などと、前年とほぼ同様の結果となった一方、「交通費以外には利用しなかった」人の割合が9.6%（同6.8%）と、前年よりも増加していました（図表3）。



調査ではこのほか、メインで利用しているクレジットカードの年間利用総額、年会費の有無、メインカードで支払っている公共料金の種類、過去1年間に利用した電子マネーの種類、電子マネーを利用した理由などについて聞きました。

調査結果の詳細は、2014年2月25日発行の月刊『アイ・エム・プレス』Vol. 214（3月号）に掲載しています。

月刊『アイ・エム・プレス』Vol. 214の詳細は、<http://www.im-press.jp/magazine/> から。

**「アイ・エム・プレス」Webサイトから
「生活者に聞く!」の
全設問の調査結果をダウンロードしていただけます（無料）。**
<http://www.im-press.jp/magazine/1000s.html>

インターネットが企業と生活者、そして企業と企業をつなぐ時代。従来からの競合の概念は大きく変化し、顧客主導型経営の重要性が叫ばれています。月刊『アイ・エム・プレス』では、このような“変革の時代”に勝ち残るための顧客づくりのヒントを、年間定期購読システムによりお届けしております。

<株式会社アイ・エム・プレス>

代表取締役社長： 西村道子 / 設立： 1989年10月19日

業務内容： 出版、セミナー企画、調査、編集

〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 ユニテビル6F

<本リリースに関する問い合わせ先>

(株) アイ・エム・プレス 編集部 / edit@im-press.jp までお気軽にお問い合わせください。